

【 渋谷区 】 胃がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--------------------|------|
| 対象年齢（50歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（胃部X線または内視鏡検査） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 54,208 | 63,438 | 117,646 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：58.2%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 4,174 | 6,383 | 10,557 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 13.2% | 17.3% | 15.4% |
| 要精検率 | 11%以下 | 10.0% | 4.4% | 6.6% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 78.2% | 81.2% | 79.4% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 15.1% | 11.7% | 13.7% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 6.7% | 7.1% | 6.9% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 0.7% | 0.0% | 0.4% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.07% | 0.00% | 0.03% |

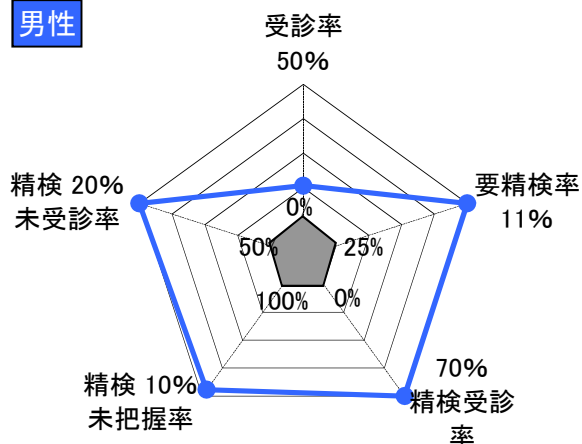
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

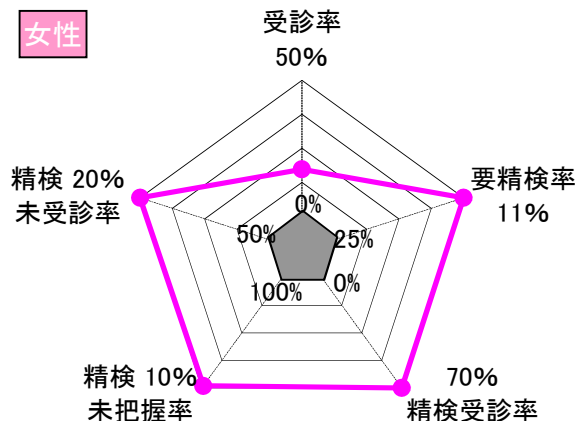
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 渋谷区 】 肺がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

| | |
|---------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 54,208 | 63,438 | 117,646 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：65.5%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 4,745 | 7,578 | 12,323 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 13.4% | 18.2% | 16.0% |
| 要精検率 | 3%以下 | 0.9% | 0.6% | 0.7% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 84.1% | 88.1% | 86.0% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 13.6% | 7.1% | 10.5% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 2.3% | 4.8% | 3.5% |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 2.3% | 4.8% | 3.5% |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.02% | 0.03% | 0.02% |

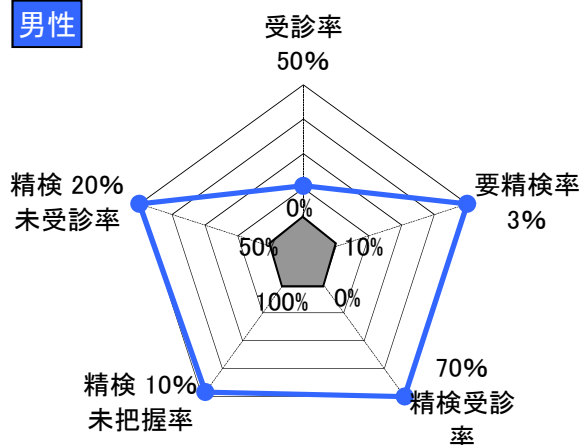
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

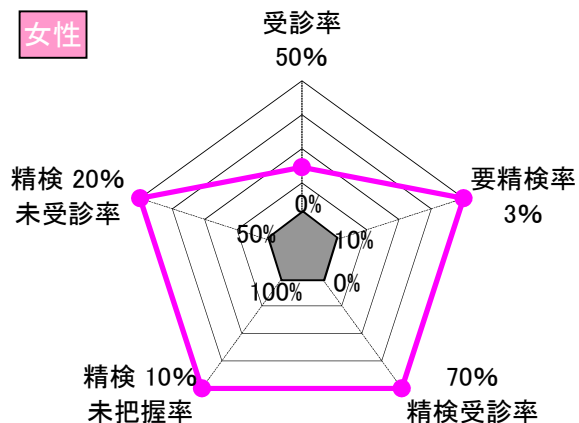
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 渋谷区 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 54,208 | 63,438 | 117,646 |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：62.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 4,791 | 8,066 | 12,857 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 14.2% | 20.4% | 17.5% |
| 要精検率 | 7%以下 | 8.1% | 6.6% | 7.1% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 75.1% | 72.0% | 73.3% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 16.3% | 17.9% | 17.2% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 8.5% | 10.2% | 9.5% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 1.8% | 1.1% | 1.4% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.15% | 0.07% | 0.10% |

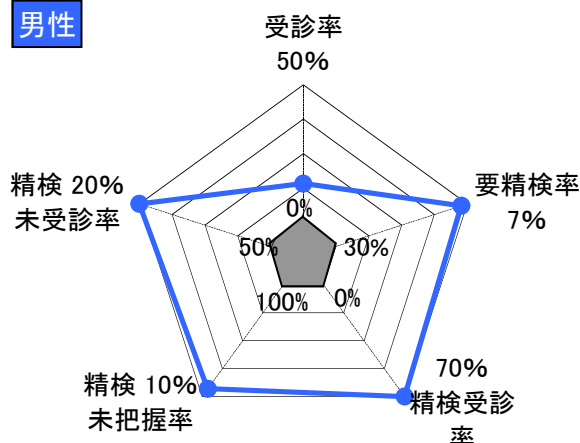
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

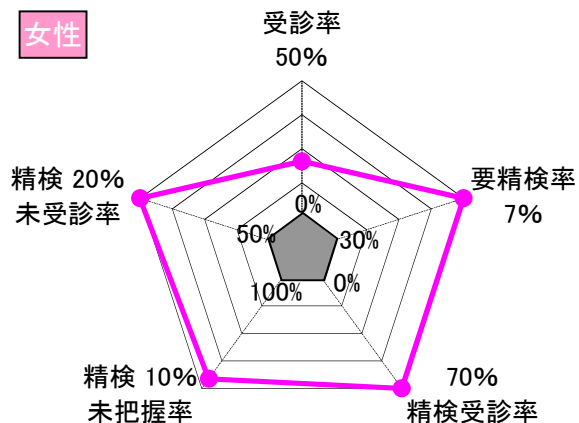
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 渋谷区 】 子宮頸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 100,037 | |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 6,561 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 18.9% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 3.1% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 86.6% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 9.5% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 4.0% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 2.0% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.06% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

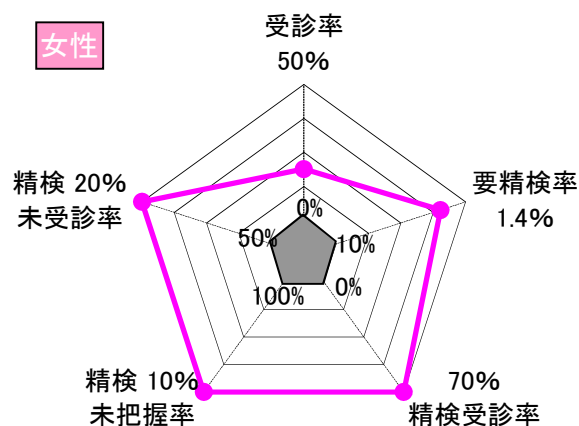
【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。



【 渋谷区 】 乳がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（マンモグラフィ） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 63,438 | |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 5,962 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 25.7% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 9.9% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 87.0% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 11.5% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 1.5% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 4.9% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.49% | |

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

